

研究分野		授業科目名		科目責任者
生理系分野		循環器情報生理学		上村 史朗
開講年次	共通／専攻／選択		単位数	
1～4	必須専攻		20	
目的				
循環器疾患の病態生理（特に動脈硬化症、心臓弁膜症）を理解し、研究能力を涵養するために、最新の画像診断法、バイオマーカー評価、循環器実験モデル動物の取り扱いを習得する。				
授業到達目標				
(1) 粥状硬化プラークの病理組織学的特徴を明らかにできる。 (2) 薬剤溶出性ステント留置例での抗血小板剤投与にともなう出血性合併症の実態や血小板機能の個体差について明らかにできる。 (3) 循環器系患者登録システムの理解と取り扱いができる。 (4) 大動脈弁狭窄症や僧帽弁逆流症の自然歴を明らかにできる。 (5) 大動脈弁狭窄症や僧帽弁逆流症の新しい心エコー図診断法を確立することができる。 (6) 急性冠症候群に対する再灌流療法の現状を理解する。				
授業計画				
月日	曜日	時間	担当者	授業内容
隔週	月	10:00 - 11:00	久米 輝善	(1) 大動脈弁狭窄症や僧帽弁逆流症の検索、その後の経過調査について (2) 大動脈弁狭窄症の診断法および現行の診断法との比較法について (3) 心房細動例の選択、検査法について (4) 経口抗凝固薬の有用性と問題点の検証について
隔週	月	10:00 - 11:00	古山 輝将	(1) 大動脈弁狭窄症や僧帽弁逆流症の検索、その後の経過調査について (2) 大動脈弁狭窄症の診断法および現行の診断法との比較法について (3) 心房細動例の選択、検査法について (4) 経口抗凝固薬の有用性と問題点の検証について
毎週	月	16:00 - 17:00	山田 亮太郎	(1) 血管内超音波画像や光干渉断層画像の読み方、計測法について (2) 新生内膜の変化や予後調査法について (3) レジストリー(KIBIDAN-GO レジストリーシステム)に蓄積された臨床データの取り扱い
毎週	月	19:00 - 20:00	上村 史朗	(1) 血管内超音波画像や光干渉断層画像の読み方、計測法について (2) 新生内膜の変化や予後調査法について (3) レジストリー(KIBIDAN-GO レジストリーシステム)に蓄積された臨床データの取り扱い
毎週	水	19:00 - 20:00	久米 輝善	(1) 血管内超音波画像や光干渉断層画像の読み方、計測法について (2) 新生内膜の変化や予後調査法について (3) レジストリー(KIBIDAN-GO レジストリーシステム)に蓄積された臨床データの取り扱い
毎週	月	18:00 - 19:00	上村 史朗	心不全患者のレジストリー調査法について
毎週	木	16:00 - 17:00	根石 陽二	心不全患者のレジストリー調査法について
隔週	金	13:00 - 15:00	上村 史朗	動脈硬化動物モデルを用いた粥状硬化プラークの病理組織学的検討について
隔週	金	15:00 - 16:00	久米 輝善	動脈硬化動物モデルを用いた粥状硬化プラークの病理組織学的検討について
隔週	火	20:00 - 21:00	上村 史朗	研究内容の抄録化、プレゼンテーションスライド作成、論文作成および投稿について
隔週	金	16:00 - 17:00	根石 陽二	研究内容の抄録化、プレゼンテーションスライド作成、論文作成および投稿について
毎週	土	9:00 - 10:00	久米 輝善	研究内容の抄録化、プレゼンテーションスライド作成、論文作成および投稿について

評価方法
<p>(1) 1・2年次に中間発表へ出席する。</p> <p>(2) 2年次に中間発表で発表する。</p> <p>(3) APRIN e-ラーニングプログラム (eAPRIN) の必須単元を受講する。[受講期間：1年次に受講。]</p> <p>(4) 1週間ごとに実験内容を履修手帳にまとめ、科目責任者の認定印をもらい、学期ごとに提出する。</p>
課題 (レポート等) に対するフィードバック
<p>提出されたレポートには意見と修正を加えて返却し、フィードバックを行う。</p>
教科書
<p>ISBN-9784524250134, チャートでわかる実践心エコー図法：エキスパートへの近道 (改訂第2版), 吉田清 他 (編集), 南江堂, 2009</p> <p>インターベンション必携 第2版, 上妻 謙・小林欣夫 (監修), 日本心血管インターベンション治療学会, 2017</p>
参考書
<p>ISBN-9783319108001, Cardiovascular OCT Imaging, Ik-Kyung Jang, Springer, 2014</p>
準備学習 (予習・復習等)
<p>(1) 事前に教科書や参考書で該当箇所を予習しておく。</p> <p>(2) 心疾患の病理を復習し、理解すること。</p>
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
<p>卓越した研究成果をあげ、専門分野の深い学識を獲得する。</p>
注意事項・メッセージ
<p>関連するトピックについて一流循環器系雑誌の論文を読んでおくこと。</p>